情報産業論

担当教員　冨永敦子，石田繁巳，石樽康雄
対象　学部１～４年生
科目群　教養基礎科目群

授業概要

本授業では，具体的な事例や白書等のデータを通して，以下の事柄を学ぶ．
・日本における情報政策の変遷
・さまざまな分野（自治体，教育，観光，健康／医療，税関など）における情報化
・ビジネストレンド（ビッグデータ，IoT，オンデマンド交通など）
・顧客ニーズ
・IT 人材育成／ワークスタイル
毎回の授業は，前回ワークのグループ発表，全体発表，レクチャー，個人ワークの順に進む．教員あるいは学外の専門家のレクチャーにより各回のテーマに関する基本的な知識を得て，その知識をもとに個人ワークに取り組む．個人ワークの内容をグループで検討することにより掘り下げていく．

キーワード

情報政策，ビジネストレンド，顧客ニーズ，IT 人材育成

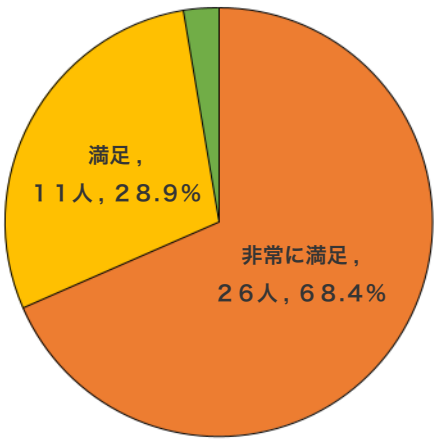
到達目標

・日本における情報政策および分野別の情報化，ビジネストレンド，顧客ニーズ，IT 人材育成，ワークスタイルに関する知識（情報通信白書に書かれている程度の知識）を得る．
・情報産業に関する事例について調べ，その事例の目的・内容・効果・問題点・対応策等を整理したうえで考察できる．

授業フィードバックアンケート結果

授業満足度

非常に満足	２６人	６８.４％
満足	１１人	２８.９％
やや満足	１人	2.6％
不満	０人	.０.０％



やや満足，１人，2.6％
不満，０人，0.0％

授業フィードバックアンケート結果

来年度以降も続けてほしいこと (抜粋)

- グループ内発表があると，前回の授業内容も思い出しやすく，自分とは違う考え方や着眼点を知ることができるので，来年以降も続けるといいと感じました.
- 自分たちで事例を探す課題が多く，学生主体で進めるため，自主性の向上や問題を発見できるいい機会になったと思う.
- グループ内での課題内容の発表が良かった．自分で調べた事例以外のことも知れるのが良い.
- 毎回の講義での個人ワークや，スライドのまとめ方（すごく情報を理解しやすいです）.
- 担当教員以外の授業はぜひ続けていただきたいと思いました！　新たな視点から学ぶことができたり，課題が普段と少し違っていたりで面白かったです！
- グループワークの時間があることでほかの人がどのようなものに着目しているか，またどのようにまとめているかがわかるのでうまい人のものを参考にできていいと思いました.

履修者から後輩へのアドバイス (抜粋)

- IoT やスマート農業など，情報産業にかかわる様々な話題について知ることができます．自分の興味のある分野と ICT を結びつけて調べると，よりその分野について詳しくなることができるのでお勧めです.
- 調べて，記述して，発表するという流れを毎週経験できます．分量もそこまで多くないので，良い練習の機会になると思います.
- 資料を読んだり，探したりして課題を行っていくため，論文等を書くのに慣れていけるため，なるべく履修しておきたい講義です.
- 自ら進んで分からないことや知らないことを調べていくことがすごく重要だと思いました．自分以外の方々の個人ワークを，よく聞いて見ることもすごく重要だと感じました.
- 毎週の課題をしっかりこなしましょう！　自由に調べる系の課題では，一つに絞って調べるより，色んな事例を幅広く調べて，ビビっと来たものを書くようにすると，いろいろなことを知れて楽しいですよ.
- ICT がどのように活用されているかなど，とてもためになる内容が多かったです．自主的に事例を調べるので，その中で新たに興味を持つこともあり，得られるものが多かったです．私のような，この先どんなことをしていきたいかまだ見えていない 1 年生には特におすすめできる講義だと思います.
- いろんな ICT 活用事例を学ぶことができるので視野を広げることができる．グループ内発表で調べてきたことに関する意見交換を行える.
- 外部の講師がゲストとして講義をしてくれることもあり，多角的な視点をもって学ぶことができる.

担当教員インタビュー

Q この授業を設計・実施する際のポイントを教えてください.

A 教員の話をただ聞くだけでは，知識を定着させることは難しいと考えています．そこで，本授業では学生自身が情報産業に関する事例について，白書や論文などを調査する活動を取り入れています．調べた内容を記述し他者に説明する機会を設けることにより，理解を深め，自分の知識として定着させることを目指しています.

Q この授業で特に気をつけているところは何ですか？

A この授業は 1 年生から 4 年生までが履修するため，知識やスキルに差があっても，全員が同じように授業に参加できるようになることを意識しています．以前は，レクチャー，個人ワーク，グループ発表の順で授業を進めていましたが，個人ワークの時間について「長い」「足りない」という両方の意見がありました. そこで, 前回ワークのグループ発表, 全体発表, レクチャー, 個人ワークの順に変更しました. また, 個人ワークの締切を授業の 3 日後に設定しました．これにより，学生が自分のペースで準備を進められるようになり，十分に考えたうえでグループディスカッションに参加できるようになりました.